

9月は世界アルツハイマー月間 ～9月21日世界アルツハイマーデー～

認知症とともに生きる時代が来ています

■1994年「国際アルツハイマー病協会」(ADIR)は、世界保健機関(WHO)と共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定し、この日を中心に認知症の啓蒙を実施しています。また、9月を「世界アルツハイマー月間」と定め、わが国でも、認知症への理解を呼びかけるなどの活動を行っています。

【誰でも受け入れるのは難しい】

自分が認知症となった時、それを受け入れることは簡単ではありません。今後の生活や経済的な不安、家族に対する思いなど心配は尽きません。

しかし最初はショックでも、気持ちに折り合いをつけて、前向きに自分らしく暮らしている多くの認知症の人と家族がいます。

家族も大切な人が苦しむ姿に、いたたまれなさや、悲しみを感じています。また、自分の体調や、生活への不安も感じています。

それでも、家族だけで抱え込まずに周りの人に話したり、制度や社会資源を利用するといった、住み慣れた町で生活を続けることができます。

様々な原因で起こる認知症を「完治」させる薬はまだありませんが、認知症を「予防する・治す」ことだけに注目せず、適切な医療やケア、周囲の理解で「病気とうまくつきあう」ことは可能です。認知症になっても、介護する側になっても、誰もが笑顔で過ごせる町にしましょう。

認知症と診断されても 認知症とともに生きる ための8か条

- ① 認知症の診断で
人生は終わらない
- ② 認知症の
正しい情報を得よう
- ③ 制度を知り活用しよう
- ④ 家族だけで
抱え込まないで
- ⑤ 仲間と支援者を探そう
- ⑥ 職場の上司や親せき
などに病名を伝えよう
- ⑦ 社会や地域とつながろう
- ⑧ 家族で話し合っ
ておきましょう

【アルツハイマー月間期間中の本町の主な取り組み】

- ・ 9月6日(月) 物忘れ相談
ほのぼの 午前9時30分～(毎月5日頃開催)
- ・ 9月8日(水) 介護者家族の会
ちづ図書館 午後1時20分～(毎月第2水曜日開催)
- ・ 9月9日(木) 認知症サポーター養成講座
山形第1地区公民館 午前9時30分～
講座の後、オレンジカフェ
(恋するオレンジの会)を行います
- ・ 9月21日(火)～9月30日(木)
パネル展示
ちづ図書館 町内の取り組み紹介など



認知症に関する相談・町の取り組みに関する問合せ先
智頭町地域包括支援センター (ほのぼの・福祉課内) ☎75-6007